

委員会付託
・議案10件

分科会分担
・議案4件
・報告1件

産業建設常任委員会に付託を受けた議案および予算常任委員会産業建設分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／木下敬夫
- ◆副委員長／徳田正則
- ◆委員／佐藤喜典、垣内武司、永崎 陽、今田勇雄



観光ボランティアガイドの研修会の様子

主な審議内容

【議案第1号】

平成30年度七尾市一般会計予算

◆能登立国1300年記念事業負担金について

- ①能登立国1300年記念事業の負担金について、全体予算が2,000万円のうち県が半分、能登の自治体で残り半分を負担しているが、七尾市の負担分375万円の根拠は何か。
- ②負担割合は、能登半島広域観光協会や石川県観光連盟に構成団体が納める基準で算出したものである。
- ③能登の4市5町のうち七尾市の比率はどれだけか。
- ④37.6%で、過去の負担実例によるのであり、現在、能登ふるさと博などでもこれに準じて進められている。



能登国分寺跡

【議案第1号】

平成30年度七尾市一般会計予算

◆地域栽培漁業推進事業費について

- ①かき殻海中集積場の原状復旧にかかる経費について、土砂混じりの分別にかかる経費はいくらなのか。また、どのように分別をするのか。
- ②平成30年度の経費については、2,927万9千円である。分別方法については、事前に粗洗いをした後に、分別機械による方法を考えている。
- ③養殖場ということもあり、汚水による汚染が懸念されるが、対策は万全なのか。
- ④養殖場であることを考慮して、現在、矢板で囲われている中で収まるように考えている。実施にあたっては十分注意して対応していく。

【議案第1号】

平成30年度七尾市一般会計予算

◆七尾市観光ボランティアガイド事業費について

- ①七尾市観光ボランティアガイド事業で、観光七尾に力を入れていくには、ボランティアガイドの育成あるいは支援体制をしっかりとすべき。七尾市観光ボランティアガイド「はろうななお」は現在、何人が活動しているのか。市は積極的な活動支援や育成を図るべきであり、この事業費の82万7千円は適当なのか。
- ②七尾市観光ボランティアガイド「はろうななお」の活動人員は現在24名である。今年度は、北陸地区のボランティアガイドの研修があり、そういうところに向向って研修も行った。事業費の内訳として、約50万円は「はろうななお」の運営事業及び研修費であり、30万円は城山ガイドにかかる経費である。
- ③ボランティアガイドの高齢化の問題も指摘されているが、七尾検定などを通して人材育成を積極的に図っていくことは、これからの七尾の魅力創出をするための一つの大きな取り組みになる事業なので、市はしっかりと議論してほしい。
- ④引き続き、関係団体と連携をして、ななお・なかのとDMOも立ち上がっているの、新たな観光誘客に繋がるよう進めていきたい。

【議案第1号】

平成30年度七尾市一般会計予算

◆市道の除草について

- ①市道の除草は年何回くらい実施しているのか。また町会から、法面の防草シートでの被覆の要請があれば対応できるか。
- ②市道の除草は幹線道路を中心に年に2回程度実施している。防草シートに関しては、シートの隙間から草が生えてくるので初期投資の費用がかかることから、一度に整備するのは難しい。
- ③県道などでは、法面をコンクリート舗装している。経費を考えると、初期投資は掛かるが法面を舗装すると将来的に経費が低く抑えられるので、市道にも法面舗装はできないか。
- ④市道での法面舗装の実績はないが、県道や国道では法面舗装しており、市道でも検討したい。